

Photo: RLG-150-58

スタンダードの頂点は'58年にあった!!

リットボディのスタンダード・バリタとよまれているレスポール・スタンダード、1952年中期に最初のレスポールモデルを発売以来、数度のマイナーチェンジを繰り返し、'57年には、あの買物の片山「ハムレット」が、(ロンドンでは有名な「オールドP.A.F.」が開発されたのだ。そして、数々のマイナーチェンジを経て'59年に登場したのが、レスポール・モデルの地位を不動のものとした極めてスタンダード・モデル



オールド・クルーゾーのすべてを現代に甦らせたチューニングギア

オリジナルと同一の形状とガラスのボディで構成するが、重要な材質、加工方法、形状の変更もパーツに反映した。



Photo: RLG-120-58

THE SUPER GRADEフレームグレイン・ブックマットトップ。

"KING OF ELECTRIC GUITAR"の名を冠し、いまも上しているが、このレスポール・スタンダード。その歴史的なボディは、52年第一号機発表以来のカーリーメイプル・カブトップ・マホガニーバックのボディ・コンストラクションは変わっていない。RLGシリーズは、その中でも特にハードウッド・ボディが、頂点を極めた58MODELの材質、形状、加工プロセスに最もまで徹底的に追求。そしてハーフフェルト再貼したのだ。そして、このRLGに採用したのが、スタンダードの中でも特に注目を集めているブックマットされたフレーム・グレイン・トップなのだ。



もう言うことなし! マホガニー・ワンピース17ネックはオールド・スタンダードそのものだ。

ギター全体の中で大きなウェイトを占めるネック、木材の良悪、それと大切なネック形状。58MODELより太目、58MODELよりスリム。その微妙なニュアンスを持つ58MODELのグリップ感覚を完璧に再現したRLG。むしろ、オリジナル通りのワイドフレットだ。この特殊のグリップがバリエーションだ。RLG-150、120、90、60には最高級ランクされるマホガニー・ワンピース材をセレクト、ハイクラスな仕様となっている。

オールドP.A.F.サウンドそのまゝ/ オールドタイプのサーキットパーツとの絶妙なコンビネーション。

フルスケール独自の製法でオールドP.A.F.両極の集まったのびのびなサウンドと響き、スペシャル・アンビエンス・コイルのコンビネーションにより、ひか目なパワーの中にも繊細なサウンドの響きを耳にしたオールドP.A.F.特有の秘めたサウンドを再現したのだ。そして、ハイセンスなサーキットパーツがオリジナルなサウンドを再現している。極めてハイコンポーネン、オールドタイプのオールドコンデンサーを使用したスペシャル・スペックは、限りなくオールドトーンを追求して(れる)ノ!



Photo: RLG-90-58



Photo: RLG-60-59



Photo: RLG-50-58

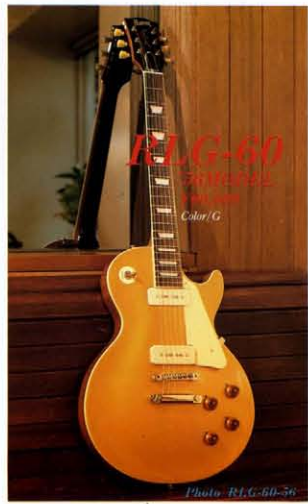


Photo: RLG-60-59